

第395回臨時議会

臨時議会が11月27日に行われ、条例改正1件を全会一致で可決しました。

令和2年12月定例会

17議案を可決

12月定例会(第396回)は12月3日開会、21日閉会の19日間の日程で行われました。提出された議案は条例改正4件、一般議案4件、令和2年度一般会計・特別会計・企業会計の補正予算6件、人事案件1件、議員提出議案3件の計18議案で、これらの議案は本会議・常任委員会慎重に審議し、17議案を原案のとおり可決・同意し、1議案を否決しました。

一般質問は3日間行われ、9議員が登壇し、市政全般にわたる質問を行いました。

補正予算

補正予算については、一般会計で2億4660万円の増額補正を行い、増額後の一般会計予算総額は、38億5481万2千円となりました。また、国民健康保険特別会計では1億3413万円の増額、介護保険特別会計では6億5500万円の増額、後期高齢者医療特別会計では8億2500万円の増額、病院事業会計では4億337万円の増額となりました。

●観光・医療・防災

公明党

阪本 忠幸 議員



Q 「隠」を活用

コロナ禍の中、「アニメ」鬼滅の刃のグッズや関連観光地は大人気を博している。作中に登場する救護班の衣装の背中に大きく「隠」と書いてあるが、本市においても観光協会が制作しているポロシャツにこの文字を使用しているものもある。この機会に救急救命士の服装に、「隠」を用いて本市のアピールをすべきだ。



「鬼滅の刃」救護班の衣装

A 検討していく

作中では「かくし」というような意味で使われているが、本市においては「隠」は以前から活用している文字であり、商標登録などに注意しながら検討していく。

公明党

富田 真由美 議員



Q 視力検査で早期発見

子どもの目の機能は生まれてから発達を続け、6歳までにほぼ完成するが、3歳6カ月児健康診査において強い屈折異常(近視、遠視、乱視)や斜視が見逃された場合に治療が遅れ、十分な視力が得られないと指摘されている。従来のランドルト環を用いた視力検査では、見逃す可能性もある。目の異常を早期に発見するため、新検査機器の「手持ち自動判定機能付きフォトスクリーナー装置」を導入し、精度の高い視力検査を求める。

A 新機器の導入を検討

より正確な検査をする上で、必要性は十分理解している。財源を確保し、新検査機器の導入に向け検討していく。



ランドルト環

喜劇

足立 淑絵 議員



Q ロゴチャットの活用

コロナ禍での令和2年度防災訓練において、消防団幹部と消防本部との情報伝達訓練で「ロゴチャット(※)」というツールが試験的に使用された。結果、災害時でも慌てず操作できること、分団の出勤人員や出勤車両の報告が容易となり、その情報が自動的に一覧表で更新されリアルタイムで確認できること、被災状況の画像や位置を正確に伝えられることなどが効果として挙げられた。今後の活用を問う。

A 結果を検証し検討

ウィズコロナ時代となる中、他市ではデジタルを活用した新たな働き方や災害対応に向けての導入が増えている。訓練結果を検証し、平時の庁内業務改善も考え検討する。

※ロゴチャット：行政専用ネットワークとインターネットの双方から接続でき、セキュリティの高い通信環境でテキストやファイルなどのやり取りが可能なビジネスチャットツール。

●国体

心風会

永岡 禎 議員



Q 国体の施設整備状況

思い切った施設整備への投資は将来にわたり市民の健康を守るだけでなく、若者の移住・定住にも繋がり、人口減少の歯止めにもなる。しかし、中途半端な投資では将来の本市のためにはならない。国体に向けての現在の施設整備の状況はどうか。また、正式競技の会場となっている野球場は整備が遅れている状態であるが、今後の展望を問う。



改修が始まったメイハンスタジアム

A 最低限の整備

非常に厳しい財政状況の中、各競技場は最低限の整備しかできない。野球場については、できるだけ関係者の要望に応えたいと考えている。内野グラウンドの土の入れ替えも財源確保に努め検討していく。

清風クラブ

森岡 秀之 議員



Q 三重国体の開催準備

令和3年度開催予定の、三重とこわか国体・三重とこわか大会の正式競技3種目と公開競技などの2種目については、市民の多くの参加が必要と考えられるが、市民への周知に関して、具体的な取組内容を問う。

A 来訪者を温かく歓迎

コロナ禍の中、市民の皆さんの総力を結集いただき、全国から訪れる選手や関係者へのおもてなしの一環として、小・中学生の心がこもったメッセージが入ったのぼり旗の作製を依頼している。今後、広報紙やホームページなどを活用し、本市で開催される競技を知ってもらい、市民全員が応援団となり、全ての来訪者を温かく歓迎・応援していただけるよう取り組む。



三重とこわか国体・三重とこわか大会 公式マスコットキャラクターとこまる

● 財政

心風会

幸松 孝太郎 議員



Q 独自課税延長の判断

独自課税「都市振興税」を3年間延長する議案について、廃止した場合、令和3年度に約12億円の財源不足が生じる。市民にどのような影響が出るのかを問う。

A 市民サービスに影響

都市振興税を延長しなければ、実質赤字比率が早期健全化基準以上となり、財政健全化団体(※)となる懸念がある。また、市民には、一般財源負担の事業や市独自の事業などへの影響が生じ、令和元年度決算で言えば、市立病院への繰出金、道路維持費、公園維持費の支出、地域福祉・地域分権経費など、多岐にわたって市民サービスに大きな影響が出ると考えている。

※財政健全化団体：実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標のうちいずれかが早期健全化基準に達した公共団体のこと。早期健全化計画の策定が義務付けられ、事業の抑制を図らざるを得なくなる。

清風クラブ

坂本 直司 議員



Q 中期財政計画の策定

11月19日開催の全員協議会において中期財政見通しを示された。12月21日の都市振興税延長案の採決結果に関わらず中期財政計画を策定すること、それを達成すべく確実な運用を求める。

A 予算編成後速やかに

中期財政計画については、令和3年度当初予算編成後速やかに示したい。中期財政計画の運用手法については、補正予算編成時や、中間評価を踏まえた次年度の重点事業ヒアリングを通じて計画変更の必要性があると判断した場合、その都度見直しを行うとともに、毎年中期財政見通しのローリング(※)を行っていきたい。

※ローリング：毎年度修正や補完などを行うことで、変化する経済・社会情勢に弾力的に対応し、計画と現実が大きくずれること防ぐ手法。

無党派

森脇 和徳 議員



Q 都市振興税について

5年間という約束のもとに始まった都市振興税であるが、この度の中期財政見通しでは、3年間の延長となっている。財源不足に対する行財政改革も向こう6年間の計画である。5年間で終わるとしていた都市振興税を終わらせることができなかったのと同時に、財政非常事態宣言も一向に解除の目途が立たないのも大きな問題と考えるが、いつになれば財政再建を果たせるのかを問う。

A 3年間の延長を

全国平均を上回る高齢化などにより、現時点で財政非常事態宣言を解除できる状態ではない。令和3年度以降の中期財政見通しの中で大きな財源不足が生じるため、あと3年間の都市振興税の延長をお願いすることになった。



自由クラブ

木平 秀喜 議員



Q 予算編成について

今議会において、都市振興税をさらに3年延長する議案が出された。市民や事業者の皆さんに負担を押し付けることなく、都市振興税なしで来年度当初予算の編成ができないか。予算の提出権は市長にあり、議員は提出された予算案を審議する立場である。財源確保の手段として議員報酬の削減、入湯税の徴収、職員駐車場の使用料徴収、ふるさと納税のさらなる増収により都市振興税をなくせないかを問う。

A 代替案で議論深まる

議員からの対案があれば議論が深まる。行財政改革の取組や人件費の削減、病院事業の経営改革とともに、都市振興税を継続させていただくことで収支不足の解消を図りたい。

その他質問

公明党

吉住 美智子 議員



Q 不登校生の支援

文科省から、不登校生がオンラインを活用し自宅学習を受けた場合など、一定の要件を満たせば校長の判断で出席扱いにするよう通知されている。GIGAスクール構想の整備に合わせ、不登校生が安心して学べる環境をつくるべきだ。

A 状況に応じ対応

出席扱いについては、自立を助ける上で有効かつ適正であるかなどが要件となっている。児童生徒の状況に応じ、誰一人取り残さない学習環境と学びを保障するため保護者・学校・教育委員会が連携して進める。

無党派

三原 淳子 議員



Q コロナ感染症対策

発熱や咳などの症状がある場合、まず身近な病院に電話するようにとのことだが、市内で診療・検査を行う病院はあるのか。伊賀保健所に電話で問い合わせや相談できることを市民に周知すると共に、感染拡大を防ぐため、PCR検査の拡充を求める。

A 相談受診方法を周知

県が指定した診療・検査医療機関は、市内にあるが非公開となっている。相談方法を広報で周知する。PCR検査センターでの検査数の引上げについては、名賀医師会と協議をしている。

Q & A